

# 地域医療支援病院 登録医のご紹介



**小澤医院**  
**小澤 和哉 先生**  
 住所：西脇市下戸田 270-38  
 TEL：0795-23-7333  
 診療科目：皮膚科



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	●	●	●	／	●	●
午後 4:00～6:00	●	●	●	／	●	／

- ① 診療を開始されてどれくらいになりますか。  
 平成6年7月より24年間。 (※土：午前9：00～11：00)
- ② どのような患者さんが来院されますか。  
 乳幼児から高齢者まで、ほぼ全年齢層が来院されます。疾患としては、アトピー性皮膚炎、足白癬、老人性乾皮症、尋常性疣贅等の患者さんが来院されます。
- ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。  
 なるべく患者さんに負担のかからない治療をしています。
- ④ 地域との連携について。  
 当院では、手術を行いませんので西脇病院にお世話になっています。



地域医療連携室だより  
 2018年12月発行

〒677-0043 西脇市立西脇病院  
 兵庫県西脇市下戸田652番地の1  
 TEL：0795-22-0111(代表)

地域医療連携室 直通  
 TEL：0795-22-8270  
 FAX：0795-23-4580

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital



# 地域医療連携室だより

HP：<http://www.nshp.jp/>

## 緩和ケア外来・緩和ケア相談のご紹介

私たちは、がんの種類・病期・治療内容にかかわらず、個々の患者さんの“よりよく生きる”を支援していきたいと思っています。

- \*がん疼痛に苦しんでいる患者さんをご紹介いただき、診察と各種検査で痛みのアセスメントを行い、麻薬を含む鎮痛剤の使用や緩和的放射線治療、神経ブロックなどを組み合わせた治療の提案を行っています。
- \*抗がん剤治療継続が困難となりご紹介いただいた患者さんの食欲不振、嘔気、倦怠感、便秘、しびれ、リンパ浮腫などの身体症状を緩和し、自宅療養が継続できるよう支援しています。
- \*病状進行や身体症状に伴う不安、不眠、抑うつ、せん妄などの精神症状に対し、精神腫瘍医とも連携し症状緩和を目指します。
- \*治療方針の意思決定支援、療養場所の選択、家族支援も行っています。必要となれば、レスパイトを含め入院での対応もしています。

診察場所：Bブロック・内科外来  
 時間：火・木曜日 午後3時30分～(30分枠)  
 担当：緩和医療専門医、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師  
 \*予約が必要です。詳しくは地域医療連携室にお問い合わせください。  
 \*主治医がおられる場合、基本的には併診として診察、対応しています。



## 緩和ケア相談では ～がんとわかったときからはじめる緩和ケア～

\*緩和ケア相談では、患者様・ご家族の気持ちや思いに耳を傾けることから支援を始めます。

\*相談内容：

- ・病気について(治療や検査、痛みや呼吸困難など今ある症状など)
- ・周囲との関わり(家族に負担をかけないか、どう伝えようかなど)
- ・これからの生活(仕事のこと、これまでの生活は送れるのかなど)
- ・気持ちのこと(気持ちの落ち込み、医療者に思いが伝わらないなど)



相談場所：地域医療連携室 相談時間：火・木曜日の午前中  
 担当：がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師  
 \*当院を受診されていない方でも結構です。  
 \*電話対応も承っております。



**あべ眼科クリニック**  
**安部 亨二 先生**  
 住所：西脇市小坂町横溝 175  
 TEL：0795-22-2200  
 診療科目：眼科



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	●	●	●	／	●	●
午後 1:00～3:00	／	手術	／	／	手術	／
午後 3:30～6:30	●	●	●	／	●	／

- ① 診療を開始されてどれくらいになりますか。  
 平成22年2月に開業しましたので8年半程になります。
- ② どのような患者さんが来院されますか。  
 白内障や緑内障など高齢の方から、結膜炎や眼ガネ、コンタクト処方など学生、子供の方まで幅広い年齢の方が来院されます。
- ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。  
 丁寧な診察、わかりやすい説明、的確な治療の3つです。
- ④ 地域との連携について。  
 入院手術の必要な難症例は紹介させていただきます。



## \*\*緩和ケアチーム（PCT）の活動のご紹介\*\*

### 1. 緩和ケアチームカンファレンス・ラウンド

緩和ケアチーム（PCT）は、医師や看護師からの依頼に応じて、入院患者さんとご家族の苦痛の緩和を図り、QOLが維持・向上できるように一緒にケアを検討しています。必要時は、退院前の拡大カンファレンスにも参加し、地域の方々との調整も行います。

緩和ケアチームは、医師、看護師、薬剤師を中心に、理学療法士、栄養士、MSW も参加し多職種で活動しています。



PCTカンファレンスの風景

### 2. 院外への緩和ケア教育・啓蒙活動



H30年度研修日程  
3月中旬  
緩和ケア看護研修会  
(2月頃に  
案内送付予定)

緩和ケア研修会・在宅緩和ケア研修会・緩和ケア看護研修会など研修会を開催しています。ぜひ、ご参加ください。がん患者が住みよい街づくりとして、学生へのがん教育、市民講座なども行っています。



緩和ケア研修会の風景

### 緩和ケアチームから地域の皆様へメッセージ・・・

緩和ケアチームでは

- 痛みの緩和
- 痛み以外の身体症状緩和
- レスパイトの対応
- 精神症状緩和

など対応困難な状況があれば、「緩和ケア相談」を通して緩和ケアチームが相談に応じます。

いつでもどこでも緩和ケアが患者さんに提供できるように、共に考え対応できる体制を目指しています。

今年度より、患者さん同士で支え合う「がんサロン」を開催し、がん患者さんへの新たな支援を始めています。

ぜひ、患者さんへもご紹介ください。



緩和ケアチーム



## 医療従事者の卵の紹介

### 「地域医療夏季セミナー」と「夏空ワークショップ」

医学部・医学科学生や県養成医学生を対象に、8月16日から18日にかけて、市内で「地域医療夏季セミナー2018inひょうご」を実施しました。70余名が県下7つの地域に分かれて地域医療を体験。当院には9名が参加され、上部内視鏡や超音波診断といった臨床実技のほか、心肺蘇生法やAEDの使用体験、災害活動研修などを実習しました。また西脇市多可郡医師会会長や開業医の先生方、当院の研修指導医や県養成医との交流を深め、地域で勤務することへの興味を持っていただきました。



地域医療夏季セミナー  
臨床実技・実習



夏空ワークショップ  
大腿骨近位部骨折の  
レクチャー

また、8月26日には、看護学生などを対象に「夏空ワークショップ2018」を開催。レクチャーやロールプレイングなどを通じて、自己の能力開発のきっかけを見出していただくため、毎年ワークショップを開催しています。今年は、DEEP HOSPITAL TOURと題してヘリポートなどの紹介、大腿骨近位部骨折についてのレクチャー、『高齢者の転倒・その原因と対策は？』をテーマにスペシャル・ディスカッションを実施。参加した32名には、スタッフや院内の雰囲気を感じていただきました。

## 日本医療マネジメント学会

### 第13回 兵庫支部 学術集会開催のお知らせ

来る平成31年2月17日（日）に日本医療マネジメント学会 第13回兵庫支部学術集会を西脇市の西脇ロイヤルホテル・アピカホールにて開催することになりました。会長を西脇市立西脇病院の病院長・岩井正秀が務めさせていただきます。開会は朝9時30分で、17時頃を閉会の予定としています。

この日本医療マネジメント学会は、医師や看護師をはじめ医療従事者が一堂に会し、病院や地域における医療、介護、連携、安全、経営等の問題に関して発表を行い検討するユニークな学会です。

今回、「日本のへそ」西脇市での開催にちなんで、メインテーマを『住み慣れた地域を護る絆と医療マネジメント ～へそノオから看取りまで～』とさせていただきました。是非とも当日は、多くの皆様にご参加いただきますよう、心よりお待ちしております。

